

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年12月24日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2771100894
法人名	医療法人 河崎病院
事業所名	グループホーム大阪緑ヶ丘
所在地	岸和田市神須屋町662-2 (電話) 072-428-0781

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 12月 3日

【情報提供票より】(平成 21年 11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 6月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	15人	常勤 6人, 非常勤 9人, 常勤換算	8.0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3階建ての	2階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000円	その他の経費(月額)	10,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	260円	昼食 600円
	夕食	520円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 21年 11月 1日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	6名	要介護2	0名
要介護3	2名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 85.1歳	最低 78歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 河崎病院、こやま歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長年地域に貢献している医療法人が運営するグループホームです。同法人は医療と福祉の連携で多様な利用者ニーズに応えられる体制を整えています。また、リハビリテーション大学、看護学校、ヘルパー養成等で専門家を育成・定着させています。当ホームは自然豊かな敷地にあり、老人保健施設、高齢者福祉センター、在宅介護センターと併設しており、地域の消防署や防災センターとの緊急連絡体制も整っています。ホームからは周辺の畑や果樹園が一望でき、収穫した野菜や果樹を四季折々に味わうことができます。利用者は外へ出て散歩をしたり、法人内施設合同のクラブ活動で楽しんだり、地域ボランティアの協力で習い事をしたり、日記に思いを綴ったり、学校や幼稚園児と交流したり、自由に楽しく過ごされています。職員は熱心で研修等で学んだことを支援に活かし、地域に歌体操などの普及もしています。家族の協力もあり、焼き肉パーティを開いて一緒に楽しんだりしています。管理者は、自らが全国認知症グループホーム協会の役員として、先駆的・先導的な役割を果たしながらサービス向上に努めています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回での主な改善課題は1項目で「運営推進会議の開催回数を2か月に1回、年6回にすること」でした。今年度は開催回数を増加し年6回開催を予定しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は外部評価の意義を理解した上で自己評価等を行っています。また、自己評価票の作成については職員全員が目を通し、意見を述べる、評価表に記入するなど役割を持ち取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議ではホームから行事や運営状況報告、利用者の介護度等についての報告、光熱費の値上がり料金設定等についての説明をしています。議題では新型感染症対策としてホーム利用者の予防接種や予防対策について、マスク着用の徹底や外出場所の考慮等で意見交換をしています。その他、職員の認知症実践リーダー研修受講の報告を行い、研修成果として、利用者自らが希望され日記を付けられるようになった等の報告をしています。運営推進会議で出された意見等については、ホーム運営に活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月1回「グループホームだより」を発行し、利用者の体調や日常の様子、写真、ケアプラン、預かり金明細を個別掲載して家族へ送付しています。急な体調の変化や連絡事項は電話等です。職員の異動や新入職員についてはその都度紹介し、新任職員はホーム内に写真を掲示して周知しています。家族からの提案で家族参加の焼肉パーティを開き、利用者、家族、職員、みんなが楽しく過ごすこともあります。ホーム内に意見箱を設置し、運営推進会議には家族代表の参加を得ています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人として自治会に加入し夏祭りなど地域行事に積極的に参加しています。利用者は「だんじり会館」の見学に出かけたり、コスモス畑や菊花展を楽しんだり、中学生の体験学習を受け入れるなど、地域の人々とふれ合う機会を設けています。地域ボランティアの協力を得て、お茶会・大正琴・習字・ちぎり絵・カラオケなどのクラブ活動を支援しています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念では「利用者・その家族・地域のみなさん・職員、それぞれが連携・協力してグループホームを充実させていく所存です。」と表記して、家族や地域の方とともに利用者の暮らしを支えていくことを明記しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示し、職員間で共有しています。管理者は職員とともに理念を具体化し、日々の支援に活かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	法人として自治会に加入し、夏祭りなど地域行事に積極的に参加しています。利用者はだんじり会館の見学に出かけたり、コスモス畑や菊花展を楽しんだり、畑で農作業をしている人と談話したり、中学生の体験学習を受け入れるなど、地域の人々とふれ合う機会が多くあります。地域ボランティアの協力を得て、お茶会・大正琴・習字・ちぎり絵・カラオケなどのクラブ活動をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は評価の意義を理解した上で改善等に取り組んでいます。また、自己評価票の作成については職員全員が目を通し、意見を述べ、評価票に記入するなど、役割を持ち取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規程を定め、会議には利用者家族代表・地域代表・学識経験者・市職員が委員として出席しています。会議で出された意見は業務に反映し、サービス向上を図っています。会議記録は参加者、職員間で共有しています。昨年は年5回の開催をしましたが、今年は年6回開催予定をしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者は運営推進会議の場だけではなく、法人との連絡調整に出向いて来られることも多く、疑問点や相談事項があればその都度相談して助言を受けることができます。また、ホームから市担当課に問い合わせたり、助言を受けたりすることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回「グループホームだより」を発行し利用者の体調や日常の様子、写真、ケアプランの月別支援目標、月毎の預かり金明細を個別に掲載し、家族へ送付しています。個別金銭出納帳を作成し、預かり金収支明細については家族の確認した署名があります。急な体調の変化や連絡事項についてはその都度電話等で連絡しています。職員の異動や新入職員については随時お知らせし、新任者はホーム内に写真を掲示し紹介しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら利用者の様子を伝え、意見や希望を聞いています。家族から行事等の提案を受けることが多く、家族参加の焼き肉パーティでは家族が主になって焼き肉を焼き、おにぎりをにぎるなど、利用者、家族、職員、みんなで楽しく過ごすことがあります。ホーム内に意見箱を設置しています。運営推進会議には家族代表の参加があります。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交代はありますが、利用者への影響はほとんどなく安定した生活をされています。新入職員を迎える場合には、利用者と馴染める時間を十分に作り、利用者が安心して支援を受けられるように配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、ホーム内研修を併せて年6回以上の実施をしています。外部研修では「認知症の接遇」、「感染症予防」等を受講し、応急手当など「緊急時の対応」については法人看護師を講師に研修を予定しています。受講者は研修を業務の一環として勤務時間内に受講することができます。受講者は研修報告を詳細に伝達し、すぐに業務に反映して効果を上げています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、サービスの質の向上を図ることを目的とする同業者との交流や連携の必要性を強く認識し、全国認知症グループホーム協会、大阪認知症高齢者グループホーム協議会に自らが役員として出向き、先駆的・先導的な役割を果たしています。また岸和田市介護保険事業者連絡会に加入し、グループホームの運営等について他事業所と交流をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望が出されたら、自宅訪問や入居見学を通じて家族や本人と話し合い、過去の生活状況や現在の気持ちを理解するようにしています。利用者本人が納得してサービス利用をされるように、体験入居も受け入れています。また、入居された場合、馴染めるまでの期間に外泊を組み込んだり、家族の訪問を依頼したりして、利用者が安心して過ごせるように支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者に家事や慣習など学ぶことが多くあります。また、食事の準備や洗濯、掃除、外へ出て新聞を取りに行ってもらう、法人内の他施設に届けものをしてもらうなど、利用者に助けてもらうこともしばしばあります。困ったことや悩み事を相談したり、体調を気遣ってもらったり、慰められたりして、家族同様に助け合う関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者と個別に話をする時間を設け一人ひとりの思いや希望を十分把握し、理解した上で支援しています。職員が利用者に日記を勧めたところ、他の利用者も自発的に日記を付けると希望され、職員に日記の管理を依頼しています。日記には日々の思いや日課、行事や食事等の感想と意見なども書かれており、職員には利用者の深い思いや意向がより正確に伝わるようになっていきます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメント、モニタリングを的確に行っており、利用者の求めていることや家族の願いを反映した介護計画書を作成しています。月1回以上ケアカンファレンスを行い、記録を残し職員間で共有しています。介護計画書は利用者、家族等への説明を行い了承サイン・押印をもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に介護計画書の見直しを行っていますが、必要があれば随時見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。また、介護計画は月1回発行しているグループホーム便りの中にある「月毎の支援目標」として記載し、実施記録もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	同法人医療機関、老人保健施設と協力し医療連携支援体制を取っています。退院後のリハビリ指導や在宅酸素療法支援など、より高度な対応を必要とする利用者の支援も行っています。併設する老人保健施設のクラブ活動への参加、法人施設合同誕生会の開催など交流の場を提供しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られた、かかりつ け医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるよ うに支援している	利用者、家族の希望を尊重した対応をしていますが、ほとんどの利用者が同法人医療機関をかかりつけ医として選択しており、月2回の往診があります。受診や結果の報告、共有などについても利用者・家族の希望に添った対応をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族の希望を尊重して終末期支援を行うという方針を明確にしています。入居時から支援方針を説明していますが、状態が急変した場合にはその都度、家族やかかりつけ医師と調整して方針を確認し共有しています。「看取り指針におけるマニュアル」を作成し、実際にホームで終末期支援を行った経験があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にされた接遇をしています。個人情報の取り扱いについては文書を定め、職員採用時には個人情報の取り扱いについて書面で確認し、職員のサイン・押印を得ています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが自分のペースで、好きな場所で好きなことができるように配慮しています。例えばソファで足を伸ばしゆっくりとテレビを見て過ごす、利用者同士で散歩や会話を楽しむ、洗濯や掃除など役割を持って過ごす等です。ホームの日課はありますが、利用者の意向や体調を優先しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設施設の厨房で調理したものをホームに運んで盛りつけをしたり、配膳をしたり、片付けなどの得意なことを役割にして、当番表を作って楽しんでいます。時には家族を交えて焼肉パーティをしたり、外のテラスでお弁当を食べたり、外食を楽しんだりしています。家庭菜園で収穫したみかんや大根の浅漬などを副食にして皆で味わい楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば毎日でも入浴ができるようにしていますが、実態としては週2～3回の入浴支援となっています。また、介護度に応じて同法人所有の特殊浴槽の活用も行っています。入浴日や時間帯は希望を尊重しています。入浴を好まれない利用者の場合はシャワー浴をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎朝、歌体操をして楽しみながら筋力アップを目指しています。食事準備や片付け、洗濯、掃除、新聞取りなど、利用者一人ひとりが得意なことで役割を持ち、張り合いのある暮らしをしています。また、皆で日記を書いたり、仲良しメンバーで散歩に出かけたり、お茶会・習字・大正琴・カラオケ・ちぎり絵などのクラブ活動をしたり、利用者の楽しみごとが多くあります。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	法人の広い敷地内や老人保健施設などに出かけ自由に散歩したり、出会う人とあいさつを交わしたり、買物に出かけたり、外食をしたり、ドライブを楽しんだり、様々な外出支援をしています。多くの利用者は活発に外出されていますが、体調調整のために一時的に外へ出る機会が少ない利用者もおられます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関やエレベーター、総合玄関などすべてを開錠しています。人の出入りがあれば玄関でチャイムが鳴るように設定しており、サポートの必要な利用者が外に出られる場合には、職員が付き添って出かけます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成し、消防署・南大阪防災センター・併設老人保健施設との緊急連絡体制を整えています。防災避難訓練は年2回行い、そのうち1回は夜間を想定した避難誘導訓練を行い、消防署の指導助言を受けています。また、訓練の状況は写真撮影し共有しています。災害発生時に備えて非常食と水を保管しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量も記録しています。同法人施設の管理栄養士が献立を作成したバランスの良い食事を提供しています。食事は一人ひとりの好みや状況に合わせて食べやすく調理するなどの配慮をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は広くゆったりとして家庭的です。居間にはソファを置き、玄関や居室の前にはイスを置いて利用者が休みながら行動できるようにしています。広いベランダがあり、草花を植えたり、観葉植物を置いたりして癒しの場となっています。ベランダからの景観が良く、周辺農園が見渡せ、駐車場の来客が見えるので、挨拶を交わすなどの楽しみがあります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は居室を個性的で清潔感のある部屋にしています。絵画や家族の写真を飾り、使い慣れた家具や仏壇を置いて、居心地良く過ごされています。どの部屋も外に面して眺めがよく静かです。換気や室温調整も適宜行っています。		